



【筑摩野—木曾北部】後半13分、筑摩野の岡本が2点目を決める

タイムス少年サッカー新人戦

木曾北部V 筑摩野2位

第十八回市民タイムスCが、大会史上初の連覇少年サッカー新人戦・カミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会、ツ少年団連合会主催)に王手をかけた筑摩野サッカー協会が、大会史上初の連覇を達成した。豊科北カミグループ協賛は、二十四日、同市の松本平広域公園総合球技場・アルウィンなどで準々決勝以上の7試合を行った。決勝では、木曾北部JF

が、大会史上初の連覇を達成した。実力伯仲のチーム同士の試合が多く、7試合のうち1点差が3試合、優勝を果たした。豊科北PK戦が2試合と接戦が相次いだ。決勝では、体力と個人技に優れる選手にボールを集めた木曾北部と、奪ったボールを丁寧につないで攻撃の起点とした筑

摩野が、それぞれの持ち味を十分に発揮した。

閉会式では、4強以上のチームの選手全員にメダルを贈り、二日間におたつた大会での健闘をたたえた。大会長の新保力市民タイムス社長は「大会で学んだことを、これからの練習、試合に大いに生かしてほしい」と、選手たち呼びかけた。

【関連記事26面】

▽決勝(アルウィン) 木曾北部 4(1-0) 2筑摩野 3(2-1) 3-2 中林3、三

田【筑】横内、岡本

【評】筑摩野は、MF横内を起点にして攻撃を探したが、体力と技術に勝る木曾北部に押し込まれる苦しい展開が続いた。2点のリードを許した後半、5分に横内がゴール正面から決めて1点を返した。3点目を奪われた直後の13分には、左クロスで岡本がトラップして右足でけり込み、再び1点差まで追い上げたが及ばず、17分にカウンタから追加点を奪われて力尽きた。